



「星曼茶羅研究の課題」 松浦 清(大阪工業大学)

☆ 星曼茶羅とは

北斗法(延命や除災を目的とする密教修法)の本尊

修法…密教の一定の形式・手続きで祈願を達成しようとする行為

本尊…祈願のための礼拝対象

☆ 星曼茶羅の二形式

・方形式…真言系

・円形式…天台系

☆ 星曼茶羅の成立

・方形式…実運(一一〇五〜一一五〇)『玄秘鈔』

三院分諸星。並内院四隅安十二宮事等。依香隆寺伝。即天曆年中。於内裏被勤行曼茶羅大略如此。但二十八宿次第依孔雀経図之。

・円形式…覚禅(一一四三〜一二一三?)『覚禅鈔』

証師記云。金剛寿院法眼被示云。北斗丸曼茶羅。台山慶円座主(世号三昧座主)迴案図絵也。和尚図絵之。当初懸尊像於壇上。排備供具。即立誓云。若叶星宿之明鑑者。須流布。謬尊位者。可棄毀云々。和尚非夢非幻。正衣冠之教輩来集壇上。競食供養物。則感歎之云々。其後披露天下。自他宗図絵云々。

・方形式および円形式…頼瑜(一二二六〜一三〇四)『秘鈔問答』

凡常途星曼茶羅者。香隆寺僧正図之給歟。於円曼茶羅者。天台慶円座主。以今案被図之。

☆ 星曼茶羅と九曜(惑星)

・星曼茶羅の構成要素(中尊を除き全て星または星座)

一字金輪仏頂尊、北斗七星、九曜、十二宮、二十八宿、(三十六禽)

↓ どうして惑星が描けるのか？

☆ 星曼荼羅の方位と二十八宿・十二宮

・方位の二形式

中国式	東…角亢氏房心尾箕	インド式	東…昴畢觜参井鬼柳
	北…斗牛女虚危室壁		南…星張翼軫角亢氏
	西…奎婁胃昴畢觜参		西…房心尾箕斗牛女
	南…井鬼柳星張翼軫		北…虚危室壁奎婁胃

二十八宿の図像典拠…『護摩炉壇様』

二十八宿と十二宮の組み合わせが座標の役割を果たして方位を決定

- ・方形式と陰陽道…陰陽五行説の方位観が鮮明
- ・円形式と宿曜道…ホロスコープ占星術の影響？

☆ 円形式とホロスコープ占星術

・円形式に描かれた水平線の表現（奈良・法隆寺甲本の例）

水平性の線分の両端に太陽と月を描く…線分の延長線上が西と東

太陽…西／月…東

両者は一八〇度離れており、月は満月

太陽…十二宮の牛密宮付近、二十八宿の昴宿付近

太陽が牛密宮に位置する時期は現行西暦では四月二十日から五月二十日頃

インド天文学は歳差運動による春分点の移動を考慮せず、春分点を固定

西暦二二〇〇年時点での西暦三〇〇〇年との歳差による差異は、十二日程度

ユリウス暦の場合、五月初めから六月初め頃に相当

↓ 太陽が牛密宮に位置する頃の満月の月の出の時刻の表現

月は心宿付近に描かれている

月が心宿で満月を迎えるのがインド暦の心月の定義

心月は中国の四月に相当する…『宿曜経』上巻「第一品」「景風曰唐之四月也」

↓ 旧暦四月十五日（ユリウス暦二二〇〇年の場合、五月二十九日）の天文

・星曼荼羅の中尊に釈迦（転輪聖王）のイメージが反映している可能性

円形式は旧暦四月十五日が釈迦の誕生日であるとすると説を視覚化したのでは？

↓ 京都鞍馬寺のウエサク祭（五月満月祭）…釈迦の誕生を祝う儀式として伝承

(奈良・法隆寺乙本他、配置の異なる作例の位置付けは要検討)

☆ ホロスコープ図との比較における課題

・ホロスコープ図では惑星位置の確定が不可欠

『七曜禳災決』のデータを利用して位置計算(「七曜新法」による)

「七曜新法」…曹士蔦の『符天曆』の暦法

・『符天曆』は天曆七年(九五三)に天台僧日延が呉越国へ渡って再輸入

↓ホロスコープ占星術のバイブルとなる

・円曼茶羅の創案は天台座主慶円と伝えられる(『覚禅鈔』)

慶円は幼くして延暦寺に入り、喜慶に師事し、天曆八年(九五四)に受戒

慶円が『符天曆』を学ぶ機会は無かったか?

・円曼茶羅の惑星配置は羅睺と計都を含め北に集中する

中国の天文観による五星集合(『大唐開元占経卷十九』)と関係するか?

↓五惑星の黄経差が20度以内に収まる場合(Sakkai's AstroPages より)

八世紀から一三世紀まで実際に観測される五星集合

・九六七年四月二〇日(離角20度)…水・土・木・金・火

・一一〇八年二月二二日(離角17度)…水・金・木・火・土

- ★ 2例、いずれも夜明け前の東天に観測される
- ★ 太陽と同じ方向の場合(6例)をどう考えるか
- ★ 黄経差を拡大する場合はどこまでを考慮するか
- ★ 星曼茶羅の惑星配置をどう捉えるか
- ★ プトレマイオス『テトラビブロス』の占星術の影響はないのか
- ★ 北斗七星の位置と季節および時刻の関係をどう捉えるか
- ★ 二十八宿の「ずれ」と惑星配置の違いをどう考えるか
- ★ 図像の違いをどう解釈するか など

↓天文図は恒星図であり、惑星配置は占星術による影響か?

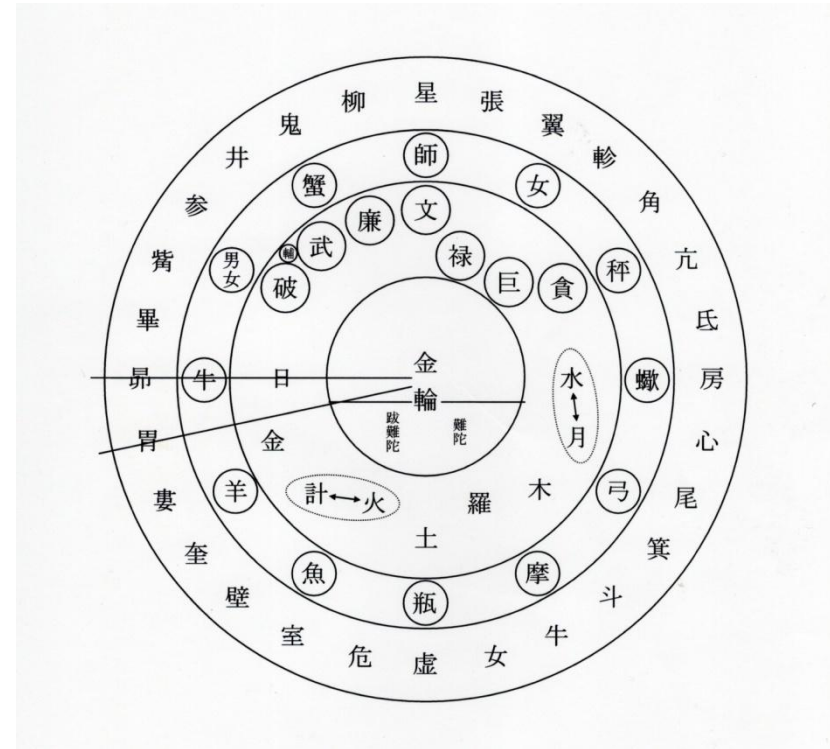
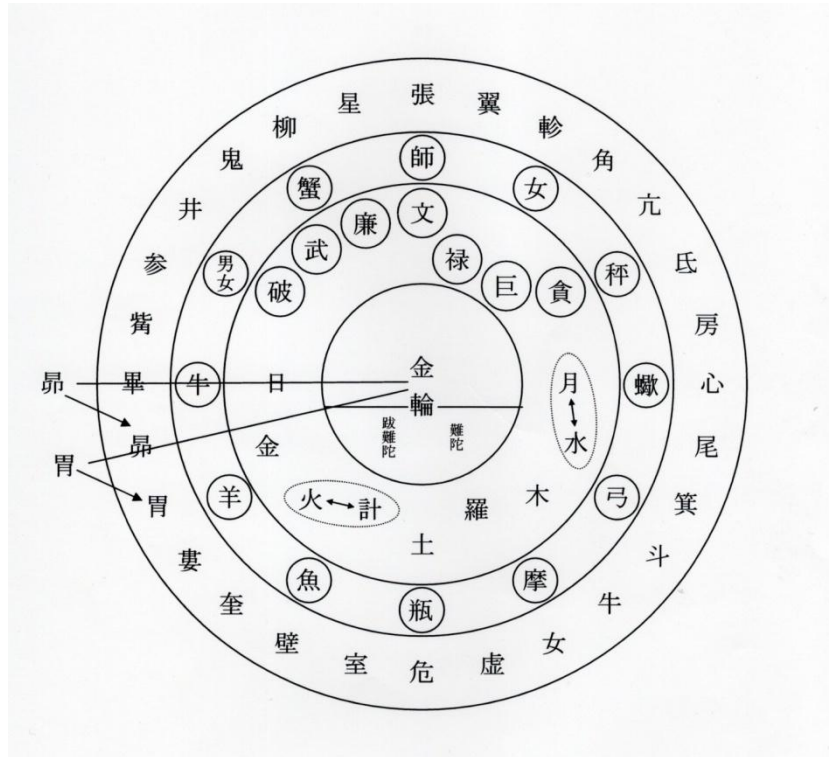
【追加情報】

堺市・正覚寺(五箇荘の阿坂墓地)の「須弥象碑」…正覚寺住職橘堂流情の制作

↓仏教天文学の円通「須弥山図」に基づく制作とみられる



星曼荼羅の構成要素と配置（方形） 大阪・久米田寺本



星曼荼羅の構成要素と配置（円形）

奈良・法隆寺甲本

和歌山・親王院本